



柿小だより

令和4年11月 柿崎小学校発行

「言葉」の記憶 から

校長 近藤 隆司

海は広いな 大きいな 月がのぼるし 日が沈む
海は大波 青い波 ゆれてどこまで続くやら
海にお舟を浮かばして 行ってみたいな よその国 (童謡「海」)

私の一番古い記憶の中の一つに、この歌とこの歌にかかわる情景があります。私のふるさとの海です。砂浜・砂利浜が広がり、そこに父親と2人でたたずんでいます。そして、父親がこの歌を歌っているようなのです。

これは、この記憶が確かであるということではなく、今まで生きてきた中で、私がこの記憶を(修正しながら?) 積み重ね、上書きした結果であり、「事実」であるかどうかはだれにも分かりません。ですが、この歌と浜と「父親といた」ということは事実であろうと思っています。

皆さんも、記憶の中にあるもの、また今まさに上書きを積み重ねている記憶がたくさんあると思います。中には、母親のお腹の中にいたときに聞いた「子守唄」を覚えている、という方もいます。

「音」の記憶は、心(脳)の奥深くに存在しているのでしょうか。無意識のうちに大切な記憶として、残しているのでしょうか。だれが、どうして、こうなっているのか、不思議な感覚になります。

日々何気なく、子どもと会話している、その「言葉(音)」や「景色」や「匂い」等が、一人一人のこどもの心(脳?)の奥深く存在する「記憶」に記録されたり上書きされたりして、その子どもの「生きている」ことにかかわっている(くる)と考えると、その大人(保護者、教職員・・・)の言動の責務は重大といえます。

数年前、自宅の2階の部屋の隅に積まれていた8ミリビデオのテープを、DVDにダビングしてもらいました。幼い頃の子どもの思い出がたくさんつまっている記録を、大切に保管しようと思ったからです。一部劣化していて映像や音声が悪化していましたが、確認したDVDは問題なく視聴できました。

「確認した」と書きましたが、「確認できた」と言ったほうがよいのかもしれませんが。途中から「確認できなくなった」のです。子どもが1歳から2歳、2歳から3歳と成長するほどに、子どもが一人から二人、三人になるほどに、撮影者である父親(私)の子どもに対する言葉掛けや態度が、聞くに堪えない、見るに堪えない状況が増えてきて、「今」の私は、すべてのDVDを視聴する勇気がなくなってしまいました。視聴する前の自分は、たっぷり愛情を込めて、一人一人あたたかい言葉で子どもを育ててきたという自負がありましたが、DVDに記録されている自分の「現実(過去の言動)」にショックを受けました。まさに「現実」を直視できない状況にあります。一生懸命育てているという(と思っている)自負が、子どもの成長を阻害していたのではないかという自責の念が渦巻いてきました。

今年29歳になった次男が、「お父さんは(子どもの頃)怖かった」と、近頃しみじみ言うことがあります。言ってもらえるということは、「今は怖くない」ということは認識(確認?)しています。「怖かった」ということが、上記のことに関係しているかどうかは定かではありませんが、(良質な)親子の関係は、これからもつくり続けていくことができると考えています。

お互いまだまだ「親として」、「子として」成長中であることを、また、その関係を熟成させていこうということを、笑って確認し合いたいと思っています。子育てのチャレンジは続きます。

マラソン記録会 応援ありがとうございました！



体育の授業や休み時間の「ゴーゴータイム」を活用して、練習をがんばってきました。

子どもたちは、競争ではなく、自分の記録に挑戦することを目標に取り組みました。

当日は、たくさんの保護者や地域の皆様から応援をいただき、多くの子どもたちが目標を達成することができました。大変ありがとうございました。

ボランティアへのご協力 ありがとうございました！

今年度も、「マラソン記録会」に、ボランティアへのお申し出をいただき、子どもたちと一緒に走ったり、コース監視をしたりとご協力いただきました。おかげさまで、子どもたちはケガなく、全力で活動することができました。ボランティアの皆様、本当にありがとうございました。



「海っ子音楽会」ありがとうございました！

10月29日に、海っ子音楽会が行われました。子どもたちがこれまで積み重ねてきた練習の成果を発揮して、一生懸命に発表していました。

元気いっぱい口を開け、体を揺らしながら歌う姿、初めての楽器に挑戦し、生き生きと音を奏でる姿、どの姿も聴いている人たちにメッセージが伝わる素敵な発表でした。それぞれの学年の子ども達のよさが随所に見られ、「音楽大好き！」という気持ちが一人一人の姿に表れた本当に素晴らしい海っ子音楽会でした。

ご多用の中、多数の保護者の皆様、地域の皆様においでいただき、大変ありがとうございました。



はまなす学級 生活単元学習紹介

はまなす学級では、自分の生活や学校生活に目を向け、子どもたちの興味や関心を大切にしながら、実際の生活に結び付くような体験活動を行っています。

1 野菜を育てよう

1学期は、友達と一緒に活動する力・協力する力、友達同士のコミュニケーション力を育むことをねらいとし、野菜作りを行いました。子どもたちの話し合いで、植えるものを、ミニトマト、キュウリ、オクラ、枝豆、スイカ、ナスに決めました。苗の水やりを欠かさずに行い、絵日記で成長の記録をとりながら、野菜を大切に育てていきました。子どもたちは、初年りのナスをカラスに食べられたことをとても残念がり、自分たちで案山子をつくることを決めました。様々な素材を活用して工夫して子どもと等身大の案山子をつくり、畑に置きました。その後はカラスに食べられることもなく、多くの野菜を収穫することができるようになり、子どもたちは、大満足でした。



2 キラキラマグネットづくり

2学期は、まず、きらきらマグネットを作りました。エコキャップに軽量の粘土を詰め込んで、固定した後、スパンコールを飾りとして接着します。最後に、エコキャップの裏面に強力接着剤でマグネットを付けて完成です。一人で10から20個ほど制作し、自分と家族で使う物、はまなす学級で使う物、先生方に贈る物に分けました。先生方に、「どうぞ使ってください。」と言添えて、気持ちを込めて渡しました。とても喜んでもらうことができました。



3 学校のために役に立つことをしよう(封筒づくり・花の苗植え)

10月から、「学校のために役に立つことをしよう。」を合言葉に、2つの活動に取り組んでいます。一つは、使用済封筒の再生です。使用済み封筒を裏返しにし、のり付けと宛名付けをします。みんなが使う封筒になるので、慎重かつ丁寧に制作しています。完成した封筒がたまったら、事務室に届ける予定です。二つ目は、花壇整備です。根をほぐしたパンジーとカレンデュラの苗を一つずつプランターに植え、水やりをして、苗を土になじませました。児童玄関の前にある花壇やプランターには、委員会の児童とはまなす学級の児童が協力して植えた花が少しずつ成長し、花を咲かせ始めています。来校された際は、きれいな花をぜひ見てください。

